

令和5年度 延岡市立旭中学校 学校関係者評価書

段階評価 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

本年度の重点目標

学力の向上	心の教育の充実	健康・安全・体力の向上	夢・自信・誇りの育成
-------	---------	-------------	------------

評価項目	評価指標	学校の自己評価	内部評価	関係者評価	学校関係者評価
学力の向上	1 基礎・基本の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業では従来の取組に加え、ICT等を活用し、基礎・基本の定着を図った。各種調査等でも結果は良好である。 ○ 各検定（漢検、英検、数検等）の受検者が多く、合格者も多い。 ● 忘れ物や家庭学習の指導など、基本的な学習習慣を身につける必要がある生徒もいる。 	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒間の学力差は大きいように思う。授業は静かに聞いているが理解できぬままにしている生徒もいるようだ。課程での学習も含めて、今後も取組が必要だと思う。 ・ 検定合格者が多いのは素晴らしい。良い点を伸ばして学力向上を進めてほしい。 ・ アンケート結果を4年前と比較すると、全般にほとんど変わらず向上は見られない。特に学力向上については保護者と生徒の評価に大きな差があり、現状に満足しておらず、双方とも正直な評価ではなからうか。学力が下方に進んでいないか心配である。 ・ 諸検査において、市内トップクラスの学校を目指してほしい。生徒本人の誇りや自信にもつながると思う。 ・ 学力向上には際限がないと考える。今後も継続的な指導をお願いしたい。
	2 思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、生徒が説明したり聞いたりする場面を多く設定し、表現力の向上に取り組んだ。 ● 授業におけるICTの効果的な活用について、指導者側も把握しておく必要がある。 	3		
	3 指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学びの共同体（生徒間での学び合い）をテーマに校内研究を充実させ、相互授業参観週間を設定するなど、全職員で授業力向上に取り組んだ。 ○ 相互授業参観を行い、学びの共同体の考え方を取り入れた授業を行い、授業改善を図ることができた。学校評価アンケートでは、「授業が分かりやすいかどうか」という項目については、生徒からの評価が高かった。 ● 学習の効果を高めるために、学びの共同体についての理解を職員がさらに高めて指導していく必要がある。 	3		
	4 学習基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ チャイム黙想等の学習規律は、生徒による自主的な委員会活動を行うことができている。この活動に対する教師の見届けも必要である。 ● 生徒によっては、授業に対する集中力に欠ける場面も見られる。 	3		
心の教育の充実	1 社会性の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校門での一礼や、部活動を通してあいさつや返事等の定着を図った。 ○ 感染症の状況に応じて、体験活動を徐々に充実させることができた。また、内容を工夫することで、行事本来の目的はおおむね達成することができた。（感染症の状況や、気温によって放送やオンラインで実施した。） ○ 校外でのボランティア等を紹介し、積極的に参加する生徒も多かった。 ● 生徒のあいさつや返事は全体的によいが、個人差が大きい。 	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的にあいさつする生徒が大半だが、こちらがあいさつの言葉をかけても、そのまま行ってしまう生徒もいる。あいさつは人間関係の基本であることを大人が手本となり、家庭・学校・地域で教えていく必要があると思う。 ・ あいさつは全ての基本。個人差をなくす努力を。 ・ 授業態度で他人に迷惑をかける言動も見られるが、機を逸することなくその都度指導し、時には厳しい態度で指導していただきたい。中学生の自覚と誇りを身につけさせるため、入学初期の段階での指導が必要。なお、あいさつの励行は校内全体で徹底されている。 ・ あいさつの個人差が大きいとはあるが、やってきた指導の成果はあると思う。 ・ 全職員が共通理解をもって取組をするのは良いことである。 ・ あいさつに加えて、人とのコミュニケーションの適切なとり方や、礼儀、対話の仕方などの「社会性」を身につける取組があると、より主体性が身につくのではないかと思います。 ・ 生徒会活動を充実させ、生徒同士の話し合いで解決できる事がいっぱいあるのではないのでしょうか。
	2 自尊感情、人権意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 命を大切にする週間や人権週間では関連する授業を実践し、生徒の人権意識を高めた。また、保護者へも学級通信等でその内容や生徒の感想を伝えた。 ○ 自己肯定感を高めるような教師の指導や取組を行うことの必要性について、夏季休業中の職員研修で共通理解がなされた。 ● 不登校を含め、支援が必要な生徒への対応において学級担任や生徒指導主事など学校だけで対応するのは状況の変化がなく、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、諸関係機関と連携を図ったが、改善に至らない事例もある。 	3		
	3 自己指導能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員が共通理解のもと組織的に動き、未然に問題行動を起こさない働きかけを行うことで、生徒・保護者・学校でよりよい関係をつくることができた。 ● 校内に学年集会などの自治的な活動を十分に行わせる場所が少ない。日頃から主体的な委員会活動を行わせる必要がある。 	3		
	4 人間関係の基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月の生活アンケート教育相談を行うことで、迅速な対応ができた。スクールカウンセラーや関係機関との連携により、不登校生徒について家庭も含めた支援を行った。 ● 家庭環境が不安定な生徒への対応として、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関との連携を今後も継続する必要がある。 	3		
健康安全・体力の向上	1 体力や運動能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍も一段落し、体育的行事や部活動などの実施がほぼ計画通り実施でき、体力の向上と健康への意識を高めた。 ○ 部活動では限られた時間で活動方法を工夫し、競技によっては、県で上位の成績をあげる部活動もあった。 ● 12月～2月にかけて、コロナ、インフルエンザ感染が多かった。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年の防災学習の内容も大切だと思うが、各家庭での防災の取組を確認し、改善する内容や状況別（朝、夜、家で、外出先でなど）の行動を考えるものもあってよいのではないかと思います。 ・ 防災訓練の継続をお願いしたい。 ・ 従来通りの旭小・中学校での一緒に避難訓練を計画してはどうでしょうか。 ・ コロナ感染は一応、沈静化に向かっているが、インフルエンザの流行と並行して未だ油断できない状況である。更なる創意工夫で乗り切っていただきたい。 ・ 限られた時間を工夫しながら成績をあげられたことはgood。 ・ 子どものスマートフォン利用の対応は難しいと思うが、今後も引き続きお願いしたい。 ・ 部活動を通して指導・教育を更にしてほしいと思います。
	2 望ましい生活習慣の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 性教育を年間計画に位置づけ、養護教諭と連携して実施できた。 ○ 養護教諭が発行する保健だよりで、虫歯治療等についての啓発活動を行っている。 ● 虫歯治療についての完治率は高くない。 ● スマートフォンなどの利用で生活のリズムが崩れがちな生徒もおり、家庭への啓発も必要である。（リーフレットをメールで配信したりHPにも掲載したりした。） 	3		
	3 安全教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教育は、1学年は地域と連携して取り組むことができた。学年の発達段階に応じて各学年で充実した活動ができた。 ● 危機管理マニュアルの確認、見直しを適宜行う必要がある。 	4		
	4 食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生も入学当初からすると給食準備の時間が短くなり、十分な食事時間を確保できた。 ○ アレルギー除去食で個別面談を行い、適切に対応した。 ● 食事の際のマナー指導について、家庭や小学校とも連携する必要がある。 	3		
夢・自信・誇りの育成	1 キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外部人材の活用や職業調べなど、将来の目標を考えるきっかけとなった。 ○ キャリア教育支援センターのコーディネーターと連携を図り、各学年に応じた取組を行うことができた。本校のキャリア教育の取組が全国で表彰をいただくことにもつながった。 ● キャリアパスポートの効果的な活用を図っていく必要がある。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ PTAの見守り活動を進めてほしい。 ・ HPの更新は停滞することなく情報発信してください。 ・ 【目指す学校像】、【目指す生徒像】、【目指す教師像】、【目指す保護者像】を生徒、職員、保護者がそれぞれの立場で検討委員会を構成して推し進めていくなどしてはいかがでしょうか。 ・ 全国で認められた事は素晴らしい。それに胡座をかか事なく、今後もお願いしたい。 ・ 学校支援「応援隊」、あさひ通信など地域や学校に関わる人とのつながりを創出する機会をつくられているかと思います。これらをより活用して、保護者・地域との連携が推進されていく事を期待します。
	2 保護者・地域との連携充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級通信やホームページ、新聞掲載記事、また、校門の掲示板等を通して、旭中の教育活動を保護者や地域に発信することができた。 ○ はげまし隊、社会人メンター、外部講師などに支援いただき、充実した教育活動を進めることができた。 ● ボランティア活動には、学校全体として捉えた際は、活動に対して積極的だが、生徒個々でみると参加への意識の差は大きい。 	3		